2023年度 QCサークル九州支部 北部九州地区 活動方針

本部方針

QCサークル活動（小集団改善活動）により、日本産業全体の“仕事（業務）の品質/質”のダントツ化を図ろう！

1. QCサークルのリーダー・メンバーは、チームワークで仕事の達成感と自己成長を図る！ (人間力)
2. リーダーは、より高い目標に挑戦するリーダーシップを発揮する！ (仕事力)
3. 管理者・監督者は、QCサークル活動支援を職場マネジメントの主要事項として行う！ (職場力)
4. 推進事務局は、全社一丸となったスピード感あふれる改善活動の活性化のために新しい施策を企画する！ (組織力)
5. 経営者は、経営に資する全社TQM推進の一環としてのQCサークル活動（小集団改善活動）の強化を図る！ (経営力)

支部方針

- I. 社会やお客様の価値観の変化やコロナウイルスがもたらした一段と進化したニューノーマル化への対応、DXの活用を前提に、本部・支部・地区が情報共有、交流し強固に連携しながら、お互いの役割と主体性により、時代の変化に対応したQCサークル活動の推進や運営方法を改革することをめざす。
- II. 社会の価値観の変化（モノからコトへ）に加え、SDG's・DX等で社会や人の価値観が大きく変化をして来た時代に、
 - ①より合理的な本部・支部・地区の組織体制と運営
 - ②社会・お客様ニーズの変化と、活動を実践していつ企業・組織の実情を反映したQCサークル活動の研究
 - ③DXによるQCサークル活動の効率化・自由度の拡大と新たな可能性の探求などにより、活動を活性化し進化させる新しい方法を検討する。
- III. 産業界全体（公務を含む）も視野に入れながら、特に、事務・販売部門やサービスを主としている第三次産業への普及拡大、小規模企業の活動支援・普及拡大を図るため、本部と支部が連携し、普及拡大のルート・働きかけの方法、大会・行事、研修会の実施方法などを工夫し、会員加入・活動参加を促進する。

QCサークル本部

(一財) 日本科学技術連盟内
QCサークル本部事務局
〒166-0003
東京都杉並区高円寺南1-2-1
TEL : 03-5378-9815
FAX : 03-5378-9843
E-Mail : juseqccd@juse.or.jp
部長 中島 宣彦
課長 小澤 恒彦
笹川 柊斗、山口 歌織、中野 満

地区運営方針

1. KAIZEN活動を通じて、地域企業(小規模企業含む)と連携し、時代の変化に沿った活動・行事運営を目指す
・ニューノーマルに対応した行事運営を通して、個人の育成・企業貢献に寄与するための活動を行う
2. 会員会社様への交流、支援の拡大を目指す
・会員会社様の満足度を高め、地区活動への参加、支援を向上する
3. 幹事の計画的なスキルアップを目指す
・幹事の早期育成のための研究会、行事運営を通じた相互研鑽を行う

活動スローガン

たゆまぬKAIZEN! 変化に負けない現場力の強化!!

九州支部

日本製鉄(株)九州製鉄所
〒804-8501
福岡県北九州市戸畑区飛幡町1-1 総合センター
TEL : 070-7304-5087 (大室)
080-1759-1269 (西山)
FAX : 093-871-1841
E-Mail : ohmuro.sa6.masato@jp.nipponsteel.com
E-Mail : nishiyama.8s3.masakazu@jp.nipponsteel.com
大室 正人
西山 正一

北部九州地区

(株)三井ハイテック
〒807-8588
福岡県北九州市八幡西区小瀬2丁目10-1
TEL : 093-614-1122
FAX : 093-614-1200
E-Mail : hideaki-iguma@mitsui-high-tec.com
E-Mail : noriko-kawaminami@mitsui-high-tec.com
伊熊 英明
川南 典子

行事計画概要

1. KAIZEN活動発表大会（5月・10月）
・会場での聴講とリモートでの聴講を選択できる大会運営を継続し、魅力ある大会にする
・聴講参加者増加を目指し、積極的な行事のPRとスムーズな行事運営による大会参加者の満足度を上げ、継続参加につなげる
・大会での講評経験と勉強会により幹事の講評スキル向上を実現する
2. 九州支部チャンピオン大会への積極的参加
・北部地区代表サークルの改善事例発表枠（6件）の推薦
・運営事例の積極的推薦参加
・JHS部門の改善事例、運営事例の積極的推薦参加
3. 問題解決型QCストーリー研修会
（6月：基礎編 11月：実践編）
・初心者向けの「基礎編」では、基礎知識の習得を図る
・中堅向けの「実践編」では、知識の向上とリーダーシップなどサークル運営能力の向上を図る
・会場参加での受講とし、講義と班別討議により理解度を深める。
・インストラクター未経験幹事には、サブを役割分担し、幹事育成とする
4. 幹事・賛助会社担当者合同研究会（4月）
・小集団活動の活性化、普及拡大のため、地区幹事・賛助担当者が研究会を通じてサークル運営のレベルアップに繋げる
5. 幹事研究会（年3回：合同研究会含む）
・幹事自らの学びと幹事間の相互研鑽でレベルアップを図る
・幹事の能力向上を図るとともに、他社、他地区の活動を研究し、自社活動の活性化を目指す
・地区行事運営の効果、効率、負担軽減も研究し実践につなげる
6. 企画改善委員会
・地区活動が、停滞・低迷しないよう、企画の創出と改善を加え、次年度の活動に反映させる
・大会の運営方法検討（リモートを事後配信のみとし大会場を利用し聴講参加者増を目指す）

重点活動項目

1. 地区運営の効率化と幹事の負荷軽減
・ハイブリッド大会運営により幹事の負荷が増大している。新ホームページ、情報交換システムの活用によるデータの共有化、Webアンケート等の利用拡大などDXの推進を図る。行事の会場を変更しないことで、行事運営要領の効率化と準備作業の負荷軽減を図る。
2. 幹事の育成
・大会の講評や研修会インストラクターの計画的実践で知識、スキルの向上を図る。
3. 大会聴講者、研修受講者を増やす策を検討し展開する
・興味を持てる行事を企画し、積極的にPRを行うことで、地区外のリモート聴講参加を増やす。
4. 賛助会員区分の見直し検討